

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成25年4月19日)

- 1 平成24年度県内空港東京便の利用者数について【交通政策課】・・・・・・・・1ページ
- 2 智頭急行保守用車両逸走事象等について【交通政策課】・・・・・・・・2ページ
- 3 鳥取環境大学の入試実施状況と就職活動状況について
【教育・学術振興課】・・・・・・・・3ページ

地 域 振 興 部

平成24年度県内空港東京便の利用者数について

平成25年4月19日
交通政策課

このたび、鳥取空港及び米子鬼太郎空港の平成24年度東京便利用実績がまとまり、鳥取-東京便は平成20年度以来4年ぶりに30万人台を回復、米子-東京便は就航以来最高の44万人台となりました。

両空港を合わせた東京便の平成24年度の利用者数は、合計743,826人となりました。

地元企業、団体、県民の皆様と共に、引き続き県内両空港の東京便利用者数増加に向けた対策に取り組み、増便や機材の大型化による利便性向上を目指します。

記

1 集計期間

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

2 搭乗者数及び搭乗率

(1) 鳥取空港 (4便/日) ※4年ぶりに利用者数30万人台回復

搭乗者数 301,885人 (これまでの最高利用者数 平成18年度 334,298人)
(提供座席数 481,738席、搭乗率 62.7%)

(2) 米子鬼太郎空港 (5便/日) ※就航以来最高の利用者数44万人台

搭乗者数 441,941人 (これまでの最高利用者数 平成18年度 418,410人)
(提供座席数 703,071席、搭乗率 62.9%)

3 利用者数増加の主な要因

(1) 鳥取空港及び米子鬼太郎空港への就航機材の一部が大型化されたこと。

・鳥取空港：平成24年7月1日から9月30日まで、1日1便が大型化

・米子鬼太郎空港：平成24年7月1日から9月30日まで、1日1便が大型化

：平成24年10月28日から平成25年3月30日まで、1日2便が大型化

(2) 米子鬼太郎空港が期間限定で1日6便化されたこと。

(平成24年10月1日から12月12日まで)

(3) 「国際まんが博」、「しまね神話博」など山陰両県で大型イベントが実施されたこと。

(4) 「うっとり鳥取キャンペーン」をはじめとする首都圏向け情報発信、利用促進対策を強化したこと。

4 今年度の利用促進対策

(1) 全日本空輸株式会社 (ANA) と連携した「うっとり鳥取キャンペーン」を引き続き実施し、首都圏向けの情報発信を継続する。

(2) 楽天トラベル、じゃらん、HISなどとの連携により、県内空港を利用した旅行商品での誘客対策を強化する。

(3) 鳥取県観光連盟と連携した首都圏旅行会社への山陰向け旅行商品造成の働きかけを強化する。

5 利用状況の推移 (過去5年間)

単位：人

年度	鳥取-羽田		米子-羽田		合計
	搭乗者数	搭乗率	搭乗者数	搭乗率	搭乗者数
平成20年度	305,265	63.2%	402,021	66.4%	707,286
平成21年度	295,553	61.3%	384,887	63.7%	680,440
平成22年度	296,750	61.6%	398,730	66.0%	695,480
平成23年度	276,987	60.2%	394,677	65.9%	671,664
平成24年度	301,885	62.7%	441,941	62.9%	743,826

智頭急行保守用車両逸走事象等について

平成25年4月19日
交通政策課

平成25年4月16日、智頭急行株式会社から、次のとおり報告がありました。
なお、智頭急行においては、原因究明、緊急点検等を行っており、再発防止を図ることとされています。

<車両の逸走>

1 日 時

平成25年4月16日（火）午前0時10分頃

2 場 所

智頭急行営業線区内：石井駅からあわくら温泉駅の間

3 概 要

営業運転終了後に施設の保守を行っていたところ、資材運搬用の車両の手ブレーキをかけ忘れたことにより、車両が無人のまま逸走した。

4 今後の対応

- (1) 智頭急行より保守用車の本線逸走として中国運輸局に口頭報告済みであり、今後、「鉄道運転事故等届出書」を提出する。併せて、鳥取、兵庫、岡山の3県へも同様の報告を提出する。
- (2) 智頭急行として次のとおり再発防止の措置を行う。
 - ・全職員に作業手順を守るよう再徹底
 - ・社員相互によるダブルチェックや規定の遵守を強化徹底
- (3) 県としても、発生原因の究明と再発防止に努めるよう要請した。

<コンクリート片の落下>

1 日 時

平成25年4月15日（月）15：37佐用町役場からの通報

※近隣住民が4月13日（土）に発見し、4月15日（月）に佐用町役場に連絡され、役場を通じて通報があったもの。

2 概 要

橋梁から剥離したコンクリート片（70×1460×150mm、約18kg）が河川敷に落下。

3 今後の対応

管内の高架橋などの緊急点検を実施しているところであり、剥落の可能性のある箇所が発見された場合は、必要な事故防止措置を行う。

鳥取環境大学の入試実施状況と就職活動状況について

平成25年4月19日
教育・学術振興課

鳥取環境大学の平成25年度入学試験及び入学者数、平成24年度卒業生の就職状況がまとまりましたので、下記のとおり報告します。

1 平成25年度入試の実施結果（学部）

募集定員：	276人（環境学部	138人、経営学部	138人）	
志願者数：	1,003人（	”	632人、”	371人）
志願倍率：	3.6倍（	”	4.6倍、”	2.7倍）
入学者数：	295人（	”	150人、”	145人）

※ AO入試、推薦入試、一般入試（前期、後期日程）、私費外国人留学生入試の合計

2 都道府県別入学者（学部、10人以上）

① 鳥取県	64人（入学者割合	21.7%）	
② 兵庫県	32人（	”	10.8%）
③ 岡山県	31人（	”	10.5%）
④ 広島県	16人（	”	5.4%）
⑤ 徳島県	15人（	”	5.1%）
⑥ 島根県	12人（	”	4.1%）
⑦ 京都府	11人（	”	3.7%）
⑧ 大阪府	10人（	”	3.4%）

3 平成24年度就職活動状況（学部）

卒業生数：126人（昨年度 121人）
就職希望者数：103人（” 100人）
内定者：97人（” 89人）
内定率：94.2%（” 89.0%）
主な就職先：卸・小売業（31）、農協等複合サービス業（9）、公務（8）
製造業（5）、金融・保険（4）
内定先所在地：県内45人（46.4%）、県外52人（53.6%）

平成25年度入試の実施結果及び入学者数

平成25年4月19日
教育・学術振興課

【学部総計】

()内は女子、内数 (単位:人)

学部	環境学部		経営学部		合計	
募集人員	138		138		276	
志願者数	632(225)	うち県内 54(16)	371(115)	うち県内 96(35)	1003(340)	うち県内 150(51)
入学者数	150 (55)	うち県内 17 (6)	145(42)	うち県内 47(20)	295 (97)	うち県内 64(26)

(1)AO入試

学部	環境学部		経営学部		合計	
募集人員	5		5		10	
志願者数	76(17)	うち県内 5(0)	39(5)	うち県内 11(4)	115(22)	うち県内 16(4)
入学者数	6(4)	うち県内 1(0)	7(3)	うち県内 3(2)	13(7)	うち県内 4(2)

(2)推薦入試

学部	環境学部		経営学部		合計	
募集人員	43		43		86	
志願者数	87(26)	うち県内 19(7)	43(13)	うち県内 20(8)	130(39)	うち県内 39(15)
入学者数	44(16)	うち県内 13(5)	37(12)	うち県内 17(8)	81(28)	うち県内 30(13)

(3)一般入試

<前期日程>

学部	環境学部		経営学部		合計	
募集人員	65		65		130	
志願者数	352(141)	うち県内 23(8)	190(74)	うち県内 40(15)	542(215)	うち県内 63(23)
入学者数	74(25)	うち県内 2(1)	74(20)	うち県内 20(8)	148(45)	うち県内 22(9)

<後期日程>

学部	環境学部		経営学部		合計	
募集人員	25		25		50	
志願者数	115(40)	うち県内 7(1)	91(22)	うち県内 25(8)	206(62)	うち県内 32(9)
入学者数	25(9)	うち県内 1(0)	27(7)	うち県内 7(2)	52(16)	うち県内 8(2)

(4)私費外国人留学生入試

学部	環境学部		経営学部		合計	
募集人員	若干名		若干名		若干名	
志願者数	2(1)		8(1)		10(2)	
入学者数	1(1)		0(0)		1(1)	

【3年次編入学】

募集人員:4人 志願者:9人 入学者数:4人

【大学院入試】

募集人員:20人 志願者:3人 入学者数:3人

平成24年度就職活動状況報告書(2013年3月卒業・修了)

教育・学術振興課
(単位:人)

1. 学部学科別内定状況 3月31日 最終

	環境政策経営学科 (環境政策学科)			環境マネジメント学科			建築・環境デザイン学科 (環境デザイン学科)			情報システム学科			全学		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
卒業生(A)	37	8	45	25	16	41	11	8	19	20	1	21	93	33	126
就職希望者(B)	33	6	39	23	11	34	8	7	15	14	1	15	78	25	103
進学・その他	4	2	6	2	5	7	3	1	4	6	0	6	15	8	23
内定者(C)	33	6	39	22	9	31	7	6	13	13	1	14	75	22	97
内定率(C/B)	100.0%	100.0%	100.0%	95.7%	81.8%	91.2%	87.5%	85.7%	86.7%	92.9%	100.0%	93.3%	96.2%	88.0%	94.2%
就職率(C/A)	89.2%	75.0%	86.7%	88.0%	56.3%	75.6%	63.6%	75.0%	68.4%	65.0%	100.0%	66.7%	80.6%	66.7%	77.0%

参考:平成23年度最終
就職希望者数 100人
内定者数 89人
内定率 89%

2. 主な内定先

(単位:人)

業種	県外企業	県内企業
農業, 林業	1	0
建設業	1	2
設計事務所	0	2
製造業	5	0
情報通信業	1	1
運輸業, 郵便業	3	0
卸売業, 小売業	17	16
金融業, 保険業	2	2
不動産業, 物品賃貸業	1	0
学術研究, 専門・技術サービス	0	1
宿泊業, 飲食サービス業	6	2
生活関連サービス業, 娯楽業	3	3
教育, 学習支援業	1	0
医療, 福祉	0	1
複合サービス事業	1	8
サービス業(他に分類されないもの)	5	4
公務	5	3
合計	52	45

3. 県内・県外出身者の就職先状況(単位:人)

県内出身者⇒県内就職	40
県外出身者⇒県内就職	5
県内就職者計	45
県内出身者⇒県外就職	18
県外出身者⇒県外就職	34
県外就職者計	52